

長崎市の景観に関するアンケート調査結果（概要）

<調査要領>

- ・調査目的:長崎市景観計画の策定に係る市民意見を把握するため
- ・調査対象:長崎市内に在住の20歳以上の3,000人
- ・調査期間:平成21年9月17日から30日まで
- ・回収数・回収率:下表のとおり
- ・調査方法:郵送方式、催促なし
- ・抽出方法:地域別無作為抽出

回収数・回収率

地域区分	回収数	回収率	地域区分	回収数	回収率
1.中央東部地区	109	27%	13.土井首地区	25	22%
2.中央西部地区	35	30%	14.茂木地区	8	13%
3.中央南部地区	51	23%	15.西浦上地区	185	34%
4.中央北部地区	119	31%	16.香焼地区	11	23%
5.日見地区	17	25%	17.伊王島地区	6	21%
6.東長崎地区	62	26%	18.高島地区	6	22%
7.三重地区	33	27%	19.三和地区	23	27%
8.式見地区	10	23%	20.琴海地区	23	25%
9.福田地区	17	21%	21.野母崎地区	12	20%
10.小柵地区	9	18%	22.外海地区	11	22%
11.小ヶ倉地区	21	27%	不明	28	-
12.深堀地区	19	28%	合計	840	28%

<被験者属性>

- ・性別 :男(43%)、女(57%)
- ・年齢 :20歳代(9%)、30歳代(14%)、40歳代(16%)、
:50歳代(19%)、60歳代(22%)、70歳以上(20%)
- ・住まいの住宅形態 :持ち家一戸建て(64%)、分譲マンション(9%)
:賃貸マンション・アパート(10%)、民間借家一戸建て(4%) : 公 営
住宅・アパート(8%)、社宅・寮・官公舎(2%)、その他(2%)
- ・居住年数 :1年未満(2%)、1年以上3年未満(3%)、3年以上5年未満(4%)、
:5年以上10年未満(5%)、10年以上20年未満(10%)
:20年以上30年未満(19%)、30年以上(57%)

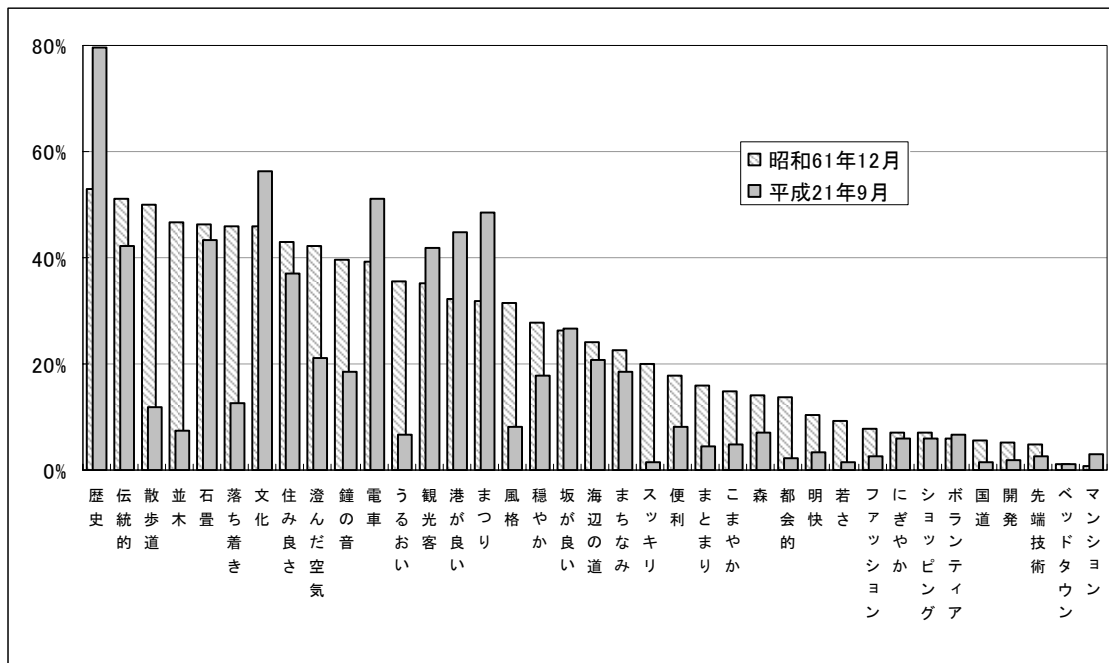
※%数字は、小数点第1位を四捨五入ため、各項目を合計しても100%にならない場合がある（以下同様）。

<景観への関心などについて>

- ・市民の 90%が景観に関心を持っている。
- ・長崎市の将来イメージとして、次のものが 4 割以上の人選ばれている。

歴史 文化 教会 まつり 伝統的 海港がよい 電車 食 石畳 観光客

・昭和 61 年に行われた景観に関する市民アンケート調査の将来イメージの調査と、今回の調査とで、共通選択肢のものを比較した結果は、次の通りである。



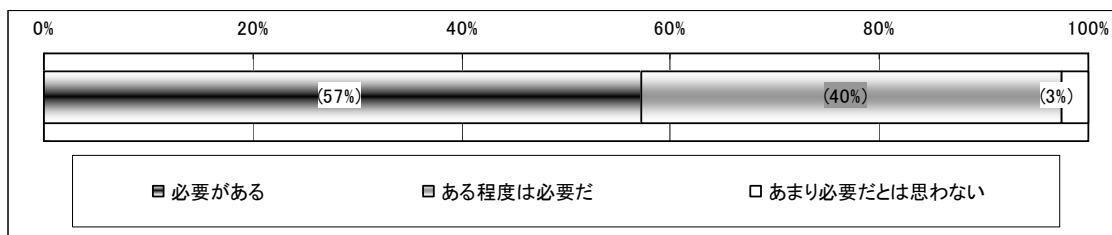
将来イメージ(昭和 61 年 12 月および平成 21 年 9 月の比較)

・長崎市の誇れる景観資源として上位にあげられたもの、および景観を損ねている要因として上位にあげられたものは次のとおりである(それぞれ上位 5 傑)。特に、港の景観、山や高台、海から眺めるパノラマ景観(および夜景)、寺社仏閣、教会、町家、洋館などの歴史的景観などが長崎市の誇れる景観資源として認知されている。

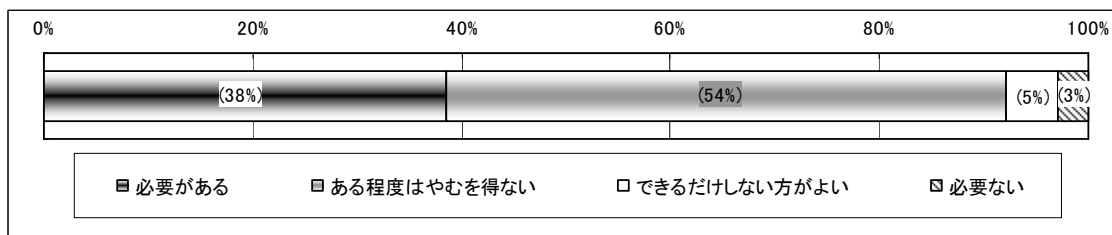
長崎市全域で誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1 位 (51%)	港の景観 (長崎港[98]、水辺の森公園[74]、女神大橋[38]、大波止[27]、稲佐山[24] など)	1 位 (35%)	空中に架線されている電線類
2 位 (48%)	山や高台、海から眺めるパノラマ景観(及び夜景) (稲佐山[234]、鍋冠山[23]、立山[19]、女神大橋[14]、外海[11] など)	1 位 (35%)	放置され、老朽化した空き家
3 位 (42%)	神社仏閣、教会、町家、洋館などの歴史的景観 (大浦天主堂[80]、グラバー園[58]、南山手地区[49]、寺町[49]、諏訪神社[41] など)	3 位 (31%)	野ざらしになっている廃棄物
4 位 (28%)	海岸線や海や島の景観 (外海地区[38]、野母崎[30]、端島[16]、伊王島[10]、大瀬戸[8] など)	4 位 (26%)	道路にある電柱、照明柱などの構造物
5 位 (25%)	斜面に広がる住宅地の景観 (稲佐山からの景観[25]、南山手[25]、稲佐山[15]、大浦地区[10]、東山手[9] など)	5 位 (25%)	眺望を阻害するような建築物や構造物

<より良い景観づくりのためのルール設定について>

・97%の人がよりよい景観づくりの必要性を感じている。



・92%の人が建物などの高さや色・形に対する制限の必要性を感じている。



・より良い景観づくりのための具体的なルールとして、5割以上が支持するものは次のとおり。

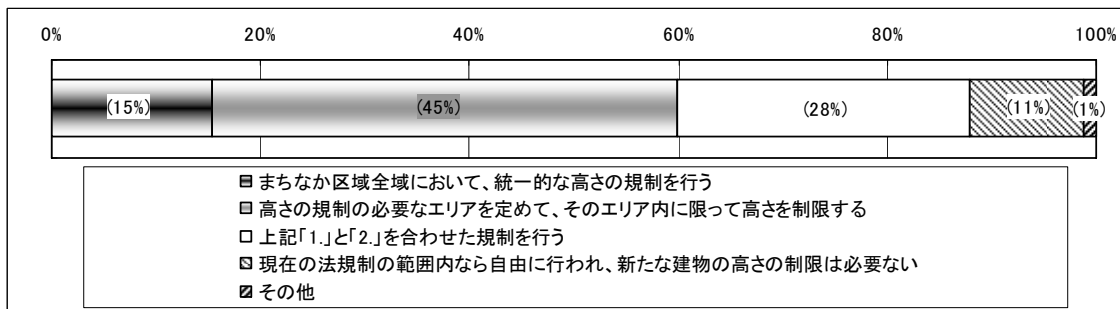
・建物の高さについて

・より良い景観づくりのための具体的なルールとして、3~4割以上が支持するものは次のとおり。

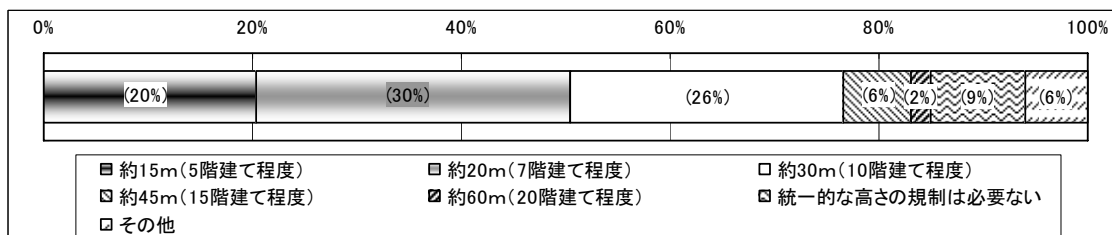
・屋外に堆積された廃棄物などについて ・建物の色・形について ・樹木などの伐採について

<まちなか地区における高さのルール設定について>

・45%の人が「高さの規制の必要なエリアを定めて、そのエリア内に限って高さを制限する」を支持している。
 ・また、まちなか区域全域もしくはエリアを定めての高さ制限を支持する人が88%に上り、高さ制限が必要ないとする人は11%にとどまる。

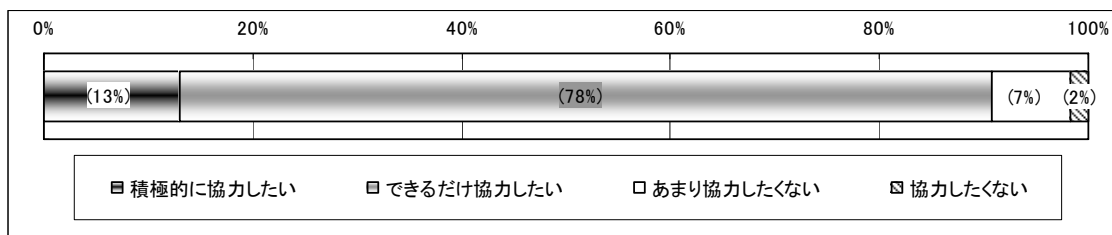


・まちなか区域における高さ規制の程度として、3割が「約20m(7階建て程度)」を支持している。
 ・また、「約15m(5階建て程度)」および「約20m(7階建て程度)」の支持者が併せて5割、「約30m(10階建て程度)」までの支持者は8割弱(76%)に上る。



<より良い景観づくりへの取組みについて>

・91%の人が景観づくりに協力したいと回答している。



・より良い景観づくりのために多くの人が市に求めることは次のとおり。

- ・景観づくりの目標や方針を示すこと
- ・歴史的な建物や地域のシンボルとなっている樹木など、景観上重要な樹木を指定、認定すること
- ・景観を損ねる建物や広告物などを規制すること
- ・景観に配慮した公共事業を進めること

<(参考)地区別景観資源などについて>

・地域の誇れる景観資源として上位にあげられたもの、および景観を損ねている要因として上位にあげられたものは次のとおりである(それぞれ上位3傑)。

1. 中央東部地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (24%)	寺社仏閣、教会、町家、洋館などの歴史的景観 (諏訪神社[7]、寺町[4]、若宮稲荷神社[3]、西坂公園・教会[3]、亀山社中跡[2] など)	1位 (35%)	空中に架線されている電線類
2位 (23%)	港の景観 (長崎港[6]、女神大橋[5]、水辺の森公園[2]、旭大橋、大波止 など)	2位 (25%)	眺望を阻害するような建築物や構造物
2位 (23%)	シンボリックな山や山並みの景観 (稲佐山[8]、彦山[7]、風頭山[5]、峰火山[3]、愛宕山[2] など)	3位 (24%)	道路にある電柱、照明柱などの構造物

2. 中央西部地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (37%)	港の景観 (長崎港[3]、稲佐山からの景観[2]、水の浦から見る対岸、水辺の森公園付近 など)	1位 (37%)	放置され、老朽化した空き家
1位 (37%)	山や高台、海から眺めるパノラマ景観(および夜景) (稲佐山[7]、湊町から見る立山地域、大曲バス停付近、女神大橋、旭大橋 など)	2位 (23%)	空中に架線されている電線類
3位 (26%)	シンボリックな山や山並の景観 (稲佐山[8]、淵神社の山の紅葉)	3位 (20%)	野ざらしになっている廃棄物
3位 (26%)	造船所など産業の景観 (三菱重工業長崎造船所[6])		

3. 中央南部地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (43%)	港の景観 (長崎港[10]、女神大橋[7]、松ヶ枝埠頭[2]、水辺の森公園付近 など)	1位 (25%)	放置され、老朽化した空き家
2位 (25%)	山や高台、海から眺めるパノラマ景観(および夜景) (女神大橋[7]、稲佐山からの夜景 など)	2位 (20%)	空中に架線されている電線類
3位 (18%)	シンボリックな山や山並みの景観 (稲佐山[4]、大山町[2]、戸町岳 など)	2位 (20%)	野ざらしになっている廃棄物

4. 中央北部地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (29%)	寺社仏閣、教会、町家、洋館などの歴史的景観 (浦上天主堂[22]、護国神社[4]、山王神社[3]、愛宕神社、如乙堂 など)	1位 (38%)	空中に架線されている電線類
2位 (21%)	街路や並木の景観 (城栄町・城栄商店街[6]、さくら通り[5]、サントス通り[2]、浦上教会付近[2] など)	2位 (24%)	道路にある電柱、照明柱などの構造物
3位 (13%)	シンボリックな山や山並の景観 (稲佐山[13]、岩屋山[5])	3位 (18%)	放置され、老朽化した空き家
3位 (13%)	山や高台、海から眺めるパノラマ景観(および夜景) (稲佐山・稲佐山公園[3]、油木町、鏡が丘、権現岩付近からの景観、本原公園 など)		

5. 日見地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (47%)	海岸線や海や島の景観 (網場漁港[2]、朝日ヶ峰からの景観、橘湾、立石、網場町春日 など)	1位 (29%)	耕作されていない荒れた農地や、管理放棄された山林
2位 (41%)	港の景観 (網場漁港[3]、橘湾[3]、網場町)	2位 (24%)	周囲と調和しない色やデザインの建築物や構造物
3位 (29%)	海沿いや山林を走る幹線道路の景観 (県道34号線野母崎宿線[2]、日見夢大橋、朝日・夕日時の空の色)	2位 (24%)	明るすぎる屋外照明や、けばけばしいネオンサイン

6. 東長崎地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (31%)	海岸線や海や島の景観 (牧島[7]、橘湾[3]、網場漁港、東望 など)	1位 (26%)	空中に架線されている電線類
2位 (23%)	街路や並木の景観 (八郎川沿いの桜並木[3]、矢上団地全域、高城台、普賢岳林道 など)	1位 (26%)	耕作されていない荒れた農地や、管理放棄された山林
3位 (18%)	山や高台、海から眺めるパノラマ景観(および夜景) (高城台[2]、橘湾、戸石漁港、稲佐山 など)	3位 (23%)	道路にある電柱、照明柱などの構造物

7. 三重地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (30%)	港の景観 (新長崎漁港[9])	1位 (27%)	耕作されていない荒れた農地や、管理放棄された山林
2位 (24%)	海岸線や海や島の景観 (神楽島[2]、角力灘、三重漁港 など)	2位 (21%)	空中に架線されている電線類
3位 (21%)	山や高台、海から眺めるパノラマ景観(および夜景) (御岳山頂からの景観、畝刈-京泊の街路樹、翡翠公園 など)	3位 (18%)	道路にある電柱、照明柱などの構造物

8. 式見地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (70%)	海岸線や海や島の景観 (神楽島[3]、あぐりの丘駐車場から見る海、角力灘、中尾先バス停から見る海)	1位 (60%)	耕作されていない荒れた農地や、管理放棄された山林
		2位 (30%)	空中に架線されている電線類
		3位 (10%)	派手な色彩の自動販売機
1位 (60%)	港の景観 (式見漁港[2]、式見-畝刈の道路、女神大橋、家を出ると海が見える)	3位 (10%)	明るすぎる屋外照明や、けばけばしいネオンサイン
		3位 (10%)	土砂崩れなどにより露出した山肌や地肌
		3位 (10%)	コンクリートで覆われた斜面
3位 (30%)	寺社仏閣、教会、町家、洋館などの歴史的景観 (乙宮神社[3]、淡島神社、浄満寺、お寺)	3位 (10%)	海岸沿いのコンクリート護岸やテラポット
		3位 (10%)	野ざらしになっている廃棄物
		3位 (10%)	放置され、老朽化した空き家
		3位 (10%)	まちなかに穴が開いたような空き地や駐車場

9. 福田地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (47%)	海岸線や海や島の景観 (福田地区、福田の海、サンセットマリーナ など)	1位 (35%)	耕作されていない荒れた農地や、管理放棄された山林
2位 (18%)	港の景観 (サンセットマリーナ[2]、大浜海岸)	2位 (24%)	海岸沿いのコンクリート護岸やテラポット
2位 (18%)	シンボリックな山や山並みの景観 (舞岳[2]、岩屋山、稲佐山)	3位 (18%)	空中に架線されている電線類
2位 (18%)	山や高台、海から眺めるパノラマ景観(および夜景) (稲佐山、岩屋山と周辺の人々、サンセットマリーナから眺める夕日)		

10. 小柵地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (67%)	山や高台、海から眺めるパノラマ景観(および夜景) (神ノ島公園からの景観[3]、女神大橋[2] など)	1位 (56%)	野ざらしになっている廃棄物
2位 (44%)	港の景観 (神ノ島公園、女神大橋から見る長崎港)	2位 (44%)	道路にある電柱、照明柱などの構造物
3位 (33%)	海岸線や海や島の景観 (神ノ島から見る女神大橋、夕日)	2位 (44%)	空中に架線されている電線類
3位 (33%)	寺社仏閣、教会、町家、洋館などの歴史的景観 (神ノ島教会[4])	2位 (44%)	耕作されていない荒れた農地や、管理放棄された山林

11. 小ヶ倉地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (52%)	港の景観 (ダイヤモンドから見る景観[3]、女神大橋[2]、小ヶ倉埠頭の夕日、長崎港 など)	1位 (29%)	空中に架線されている電線類
2位 (33%)	山や高台、海から眺めるパノラマ景観(および夜景) (ダイヤモンド内かに座公園からの景観 など)	2位 (19%)	眺望を阻害するような建築物や構造物
3位 (24%)	シンボリックな山や山並みの景観 (八郎岳、小ヶ倉団地上関岩 など)	2位 (19%)	道路にある電柱、照明柱などの構造物
3位 (24%)	造船所など産業の景観 (三菱重工業長崎造船所香焼工場[2] など)	2位 (19%)	野ざらしになっている廃棄物

12. 深堀地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (47%)	海岸線や海や島の景観 (大籠町からの景観[3]、香焼 など)	1位 (21%)	野ざらしになっている廃棄物
2位 (42%)	寺社仏閣、教会、町家、洋館などの歴史的景観 (深堀武家屋敷跡[5]、菩提寺[2] など)	2位 (16%)	海岸沿いのコンクリート護岸やテトラポット
3位 (16%)	港の景観 (深堀漁港、有明)	2位 (16%)	耕作されていない荒れた農地や、管理放棄された山林
3位 (16%)	山や高台、海から眺めるパノラマ景観(および夜景) (善長谷教会からの景観[2])		

13. 土井首地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (40%)	シンボリックな山や山並みの景観 (八郎岳[7]、道の駅夕陽が丘そとめ、女神大橋)	1位 (36%)	空中に架線されている電線類
2位 (28%)	海岸線や海や島の景観 (池島・小島、土井首から見る女神大橋、野母崎の海岸線 など)	2位 (28%)	耕作されていない荒れた農地や、管理放棄された山林
2位 (28%)	山や高台、海から眺めるパノラマ景観(および夜景) (平山台高所からの景観[2]、開成学園前からの景観、稲佐山 など)	3位 (24%)	道路にある電柱、照明柱などの構造物

14. 茂木地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (25%)	港の景観 (茂木港)	1位 (25%)	耕作されていない荒れた農地や、管理放棄された山林
		2位 (13%)	周囲と調和しない色やデザインの建築物や建造物
		2位 (13%)	道路にある電柱、照明柱などの構造物
1位 (25%)	農山漁村集落の景観 (太田尾町、びわ畑)	2位 (13%)	空中に架線されている電線類
		2位 (13%)	派手な色彩の自動販売機
		2位 (13%)	コンクリートで覆われた斜面
1位 (25%)	海岸線や海や島の景観 (太田尾町、北浦-茂木-千々の海岸線)	2位 (13%)	海岸沿いのコンクリート護岸やテトラポット
		2位 (13%)	放置され、老朽化した空き家
		2位 (13%)	まちなかに穴が開いたような空き地や駐車場

15. 西浦上地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (16%)	街路や並木の景観 (滑石のイチョウ並木[4]、滑石の桜並木[2]、北陽小学校周辺の桜[2] など)	1位 (31%)	空中に架線されている電線類
2位 (15%)	山や高台、海から眺めるパノラマ景観(および夜景) (稲佐山[5]、岩屋山[5]、あぐりの丘[2] など)	2位 (25%)	道路にある電柱、照明柱などの構造物
3位 (14%)	寺社仏閣、教会、町家、洋館などの歴史的景観 (滑石大神宮[9]、西町教会[3]、住吉神社[2] など)	3位 (21%)	放置され、老朽化した空き家

16. 香焼地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (73%)	海岸線や海や島の景観 (辰ノ口、尾ノ上、安保岳から高島の眺望、尾の上バス停付近から見る水平線 など)	1位 (27%)	空中に架線されている電線類
		2位 (18%)	放置され、老朽化した空き家
		3位 (9%)	周囲と調和しない色やデザインの建築物や構造物
		3位 (9%)	ビルの屋上の広告物、アンテナ
2位 (36%)	山や高台、海から眺めるパノラマ景観(および夜景) (香焼自然公園展望台から見る女神大橋および長崎港、堀切からの海の眺望)	3位 (9%)	道路にある電柱、照明柱などの構造物
		3位 (9%)	林立するのぼり旗
		3位 (9%)	土砂崩れなどにより露出した山肌や地肌
		3位 (9%)	コンクリートで覆われた斜面
2位 (36%)	造船所など産業の景観 (三菱重工業長崎造船所[2]、長浜、辰ノ口海岸より長崎方面)	3位 (9%)	海岸沿いのコンクリート護岸やテトラポット
		3位 (9%)	野ざらしになっている廃棄物
		3位 (9%)	まちなかに穴が開いたような空き地や駐車場

17. 伊王島地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (100%)	寺社仏閣、教会、町家、洋館などの歴史的景観 (沖ノ島天主堂[5]、馬込天主堂、円通寺 など)	1位 (67%)	放置され、老朽化した空き家
2位 (83%)	海岸線や海や島の景観 (コスタ・デル・ソル[2]、西の浜、島一周道路、畔の岩這、千畳敷)	2位 (50%)	耕作されていない荒れた農地や、管理放棄された山林
3位 (50%)	港の景観 (伊王島港[3])	3位 (33%)	野ざらしになっている廃棄物
3位 (50%)	山や高台、海から眺めるパノラマ景観(および夜景) (伊王島灯台[2]、夕陽ヶ丘展望台)		

18. 高島地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (83%)	海岸線や海や島の景観 (人工海水浴場[2]、島全体、釣り公園、グラバ一別邸跡)	1位 (50%)	放置され、老朽化した空き家
2位 (50%)	山や高台、海から眺めるパノラマ景観(および夜景) (権現山展望台(2)、端島)	2位 (17%)	道路にある電柱、照明柱などの構造物
3位 (17%)	港の景観 (高島港)	2位 (17%)	野ざらしになっている廃棄物
3位 (17%)	農山漁村集落の景観 (高島トマト栽培ハウス棟)		
3位 (17%)	街路や並木の景観 (ハイビスカス並木道)		
3位 (17%)	養殖いけす、いさり火などの漁場の景観 (釣り公園)		

19. 三和地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (52%)	海岸線や海や島の景観 (高島[4]、軍艦島[3]、夕日が沈む景観[2]、川原・岳路海水浴場、五島列島 など)	1位 (30%)	道路にある電柱、照明柱などの構造物
2位 (26%)	山や高台、海から眺めるパノラマ景観(および夜景) (衣笠公園展望台、寺岳、橋湾から見る天草灘、小さな山と海のバランスのよさ)	1位 (30%)	耕作されていない荒れた農地や、管理放棄された山林
		3位 (22%)	空中に架線されている電線類
3位 (17%)	シンボリックな山や山並みの景観 (五郎岳、八郎岳、平山から見る山並 など)	3位 (22%)	海岸沿いのコンクリート護岸やテトラポット
3位 (17%)	河川、池、ダムなどの水辺の景観 (川原大池[4])	3位 (22%)	放置され、老朽化した空き家

20. 琴海地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (57%)	海岸線や海や島の景観 (形上湾[3]、大村湾[3]、琴海 など)	1位 (30%)	空中に架線されている電線類
2位 (30%)	山や高台、海から眺めるパノラマ景観(および夜景) (大村湾[2]、赤水公園[2]、形上湾 など)	2位 (26%)	道路にある電柱、照明柱などの構造物
3位 (13%)	農山漁村集落の景観 (琴海尾戸町)	2位 (26%)	耕作されていない荒れた農地や、管理放棄された山林

21. 野母崎地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (92%)	海岸線や海や島の景観 (脇岬海水浴場[3]、野母崎[2] など)	1位 (50%)	海岸沿いのコンクリート護岸やテトラポット
2位 (75%)	山や高台、海から眺めるパノラマ景観(および夜景) (権現山[5]、樺島灯台[3]、遠見山 など)		
3位 (33%)	港の景観 (野母港[2]、長崎港、グラバー園からの眺め)	2位 (33%)	空中に架線されている電線類
3位 (33%)	海沿いや山林を走る幹線道路の景観 (国道499号線[2]、野母港線 など)		
3位 (33%)	寺社仏閣、教会、町家、洋館などの歴史的景観 (観音寺、大浦天主堂)	2位 (33%)	放置され、老朽化した空き家

22. 外海地区

地域の誇れる景観資源		景観を損ねている要因	
1位 (64%)	海岸線や海や島の景観 (道の駅夕陽が丘そとめからの景観[2]、神浦港、新神浦橋から見る夕日 など)	1位 (55%)	耕作されていない荒れた農地や、管理放棄された山林
2位 (45%)	山や高台、海から眺めるパノラマ景観(および夜景) (永田丘からの眺め、神浦城跡からの景観、椿が丘から見る神浦 など)	2位 (45%)	放置され、老朽化した空き家
3位 (36%)	寺社仏閣、教会、町家、洋館などの歴史的景観 (出津教会[3]、神浦神社)	3位 (18%)	周囲と調和しない色やデザインの建築物や構造物